

# 復興に向けた検討状況の報告

資料5

「“新生ならば”の実現」から

「双葉郡の真の復興」を目指して



楢葉町

# はじめに

原子力被災地の復興を着実なものとするためには、震災前の原風景を取り戻すにとどまらず、新たな魅力あるまちの再構築「新生ならはこの創造」に取り組み、楡葉町のみならず双葉郡の復興を先導する拠点化を目指していくことが必要。

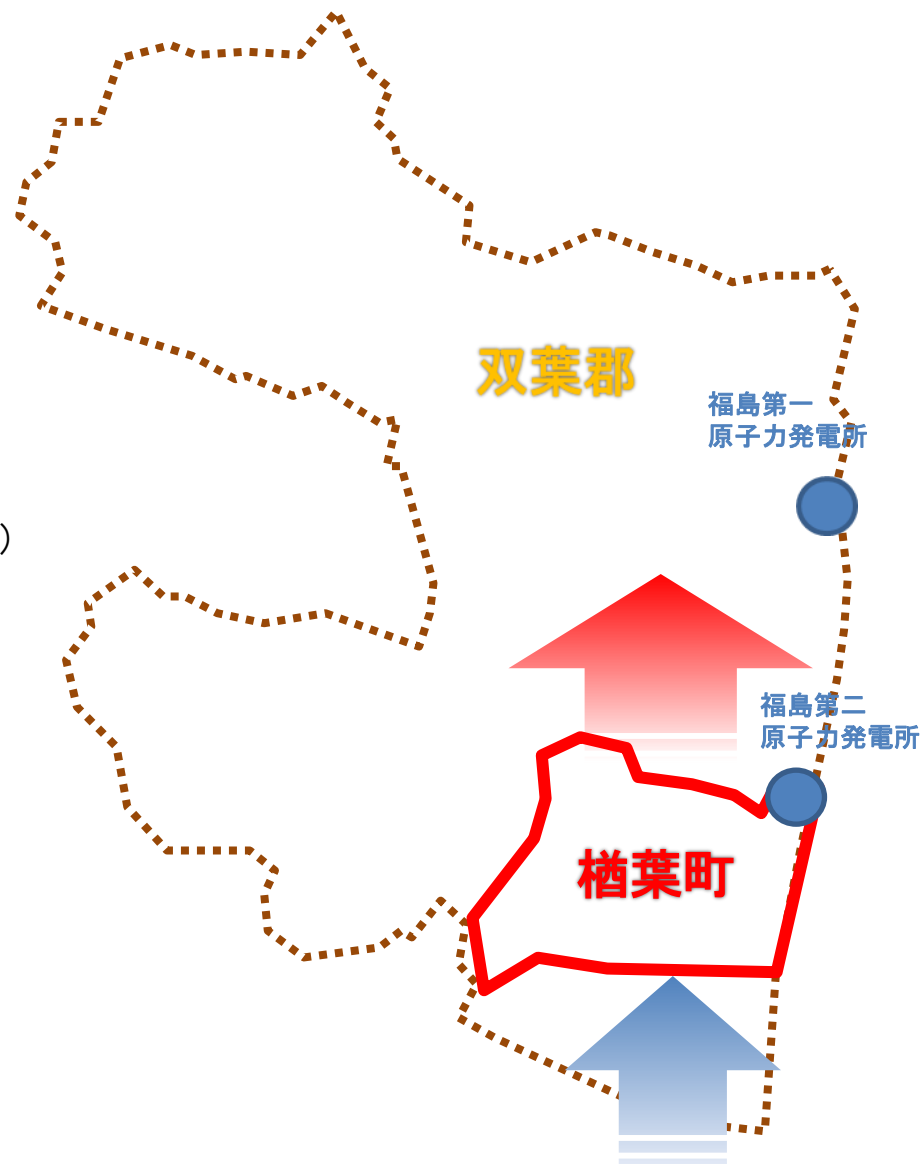
## 楡葉町土地利用計画アクションプラン

(平成26年3月策定予定)

- 楡葉町復興計画<第二次>に示された土地利用計画の具体化を図り、町の将来の絵姿とその実現に向けた道筋を示すもの。【別紙概要(案)参照】

## 地域のさらなる復興推進策

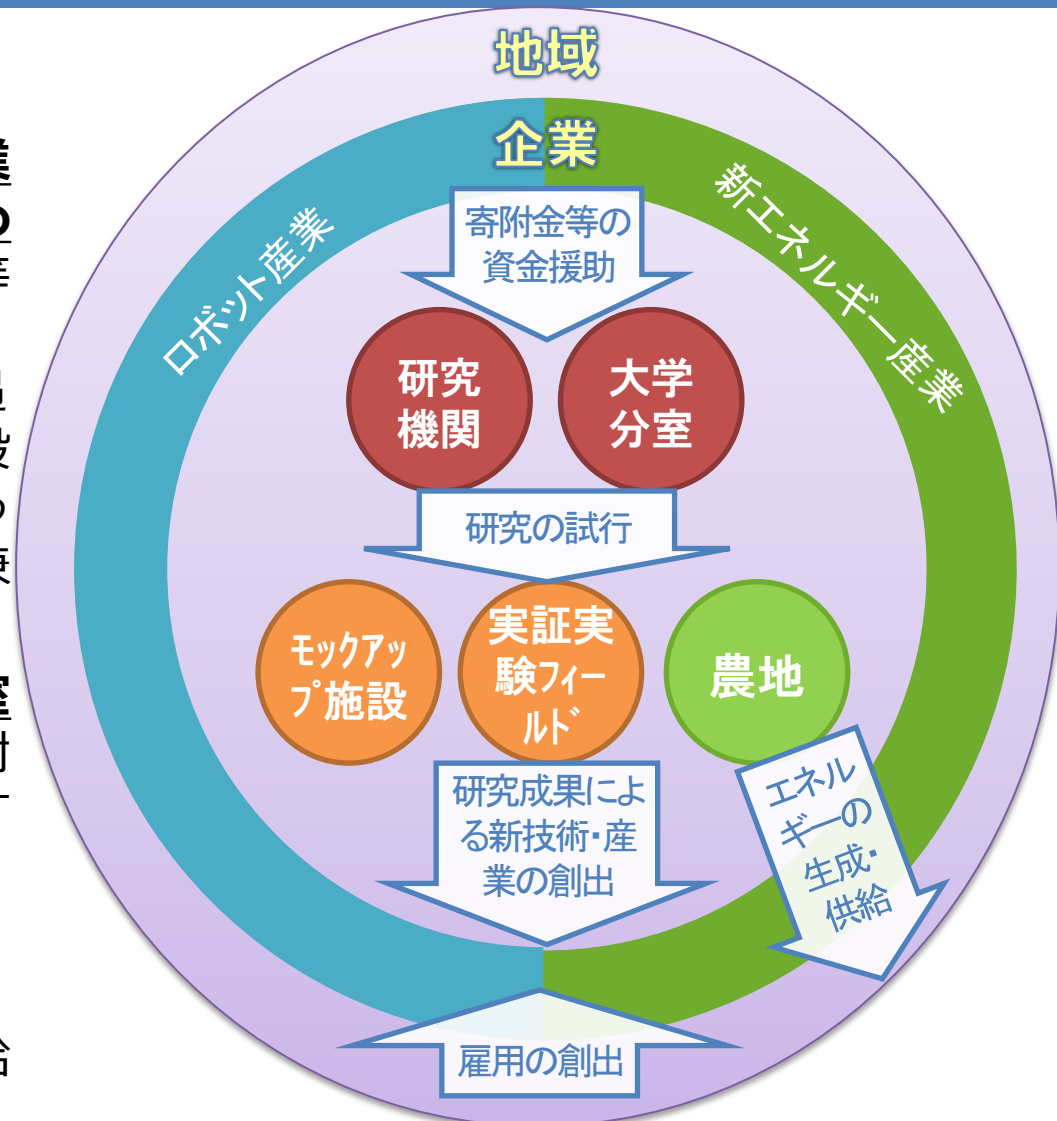
- 土地利用の観点以外にも、町の特徴を活かしながら、復興を推進する個別具体のアクションとして今後取り組むべきもの。



# 檜葉町・双葉郡の復興を推進するための展開案

## ①新産業創造特区構想

- **ロボット産業や新エネルギー産業を持続的・発展的に展開するための特区を指定し**、外国人研究者等が働きやすい環境となるための“就労ビザ”、開発資金の税制優遇措置、国立大学等の試験研究施設を民間企業が利用し易くなるような要件緩和、国立大学教員等の兼業規制の緩和を実施
- **大学の機械・電子・農業系の分室を誘致**するため、企業からの寄附金等控除や現地での研究を促進するための規制緩和を実施
- **エネルギーパーク構想（次頁参照）と連動**させて、生成エネルギーを住民や町内事業者等へ供給し、農業再生への貢献

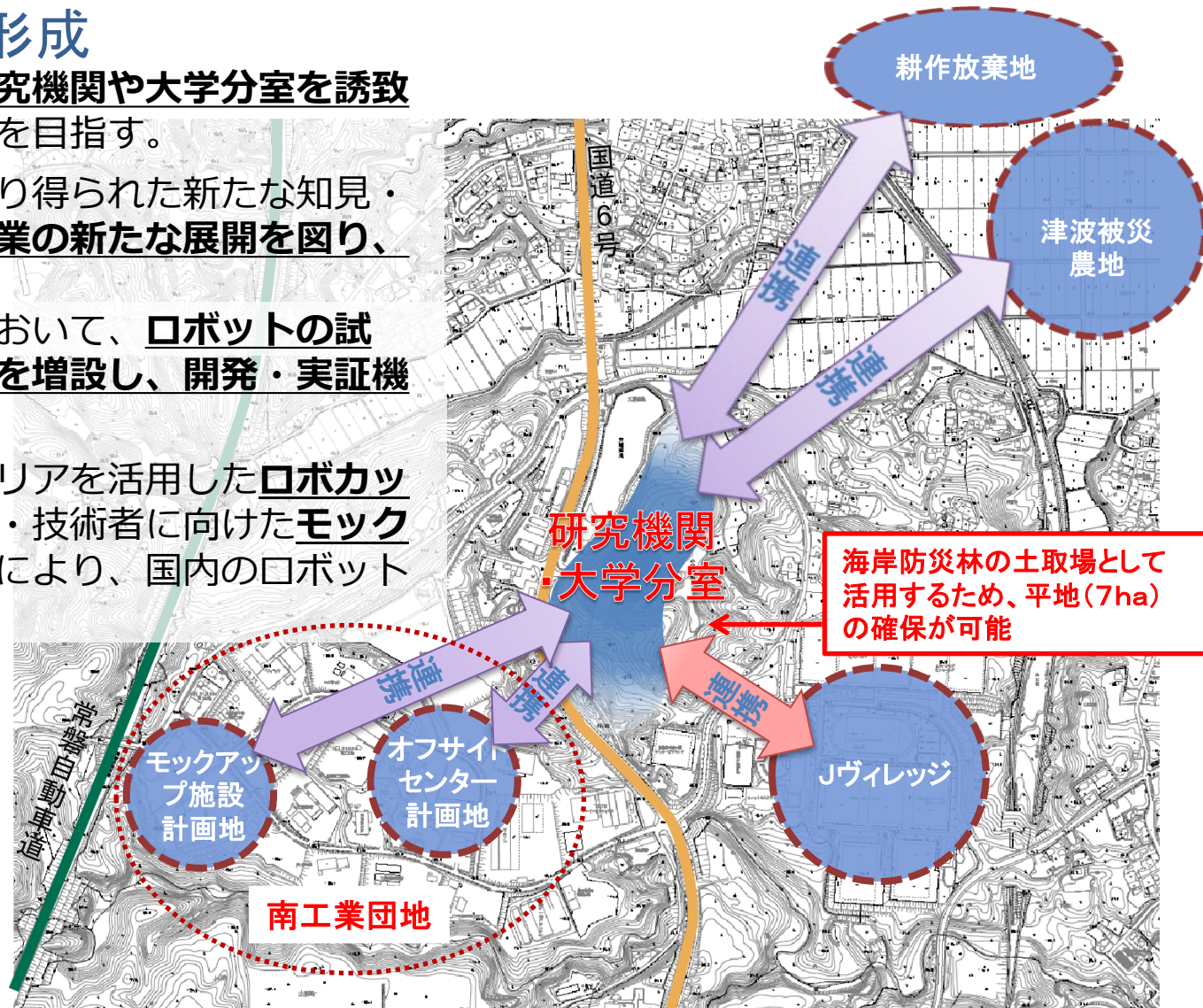


# 檜葉町・双葉郡の復興を推進するための展開案

## ②産学連携拠点の形成

- 機械・電子・農業系の**研究機関や大学分室**を誘致し、産学連携拠点の形成を目指す。
- 研究機関や大学分室により得られた新たな知見・技術を活用し、**農業・工業の新たな展開を図り、産業再生・雇用を創出**
- モックアップ施設周辺において、**ロボットの試作・改良のための施設等を増設し、開発・実証機能を強化**
- Jヴィレッジ等の周辺エリアを活用した**ロボカップ等の開催**や国外研究者・技術者に向けた**モックアップ視察ツアーの開催**により、国内のロボット技術を世界へ発信

・米・トリシティズのワシントン州立大学分校は、ハンフォード・サイト従業員に対する大学院教育を目的に設立。  
・現在では、エネルギー省傘下の研究機関PNNLとともに、共同研究機関を設立し、小麦の残渣や間伐材を活用したジェット燃料を開発・生産。また、ワイン醸造学科を設立し、ワイン生産を振興。



# 檜葉町・双葉郡の復興を推進するための展開案

## ③エネルギーパーク構想(1/2)

- 檜葉町内に複数の再生エネルギープラントから構成するエネルギーパークを整備
- コンパクトタウンにおける住宅、竜田駅東側地域の寮や事業所、産業再生エリアの工場の**屋根等に太陽光パネルを設置し、前項とあわせて特区指定により電力の特定供給事業等**を実施
- 檜葉町沖で試行されている洋上風力で得られた知見を活かした**風力発電施設の整備**を進めるとともに、**技術者育成により雇用**を創出
- スイートソルガム等の**バイオ燃料を生成**し、町民や町関連事業者へ供給
- **太陽光、風力、バイオマス**等の再生可能エネルギー発電源と蓄電池を組合せ、スマートグリッド配電網を活用し、**双葉郡や復興事業等へのエネルギーを供給**



# 檜葉町・双葉郡の復興を推進するための展開案

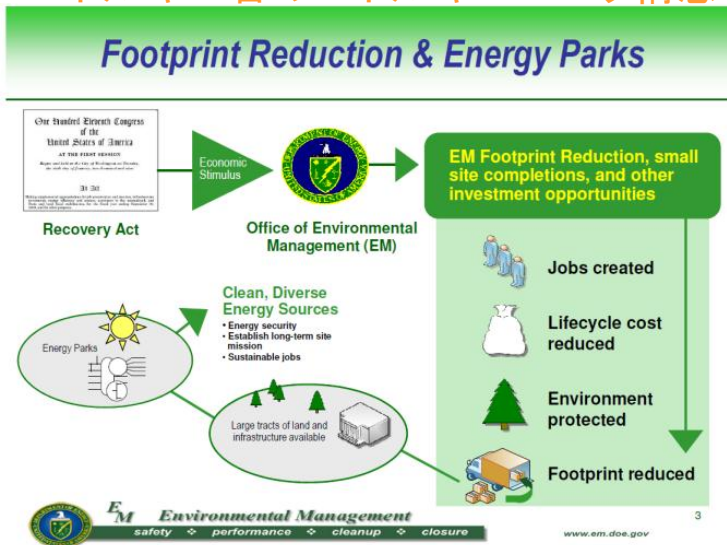
## ③エネルギーパーク構想(2/2)

- ハンフォード・サイトに倣い、双葉郡の南の玄関口をエネルギーパークとして整備することで、新エネルギー産業に係る雇用を創出

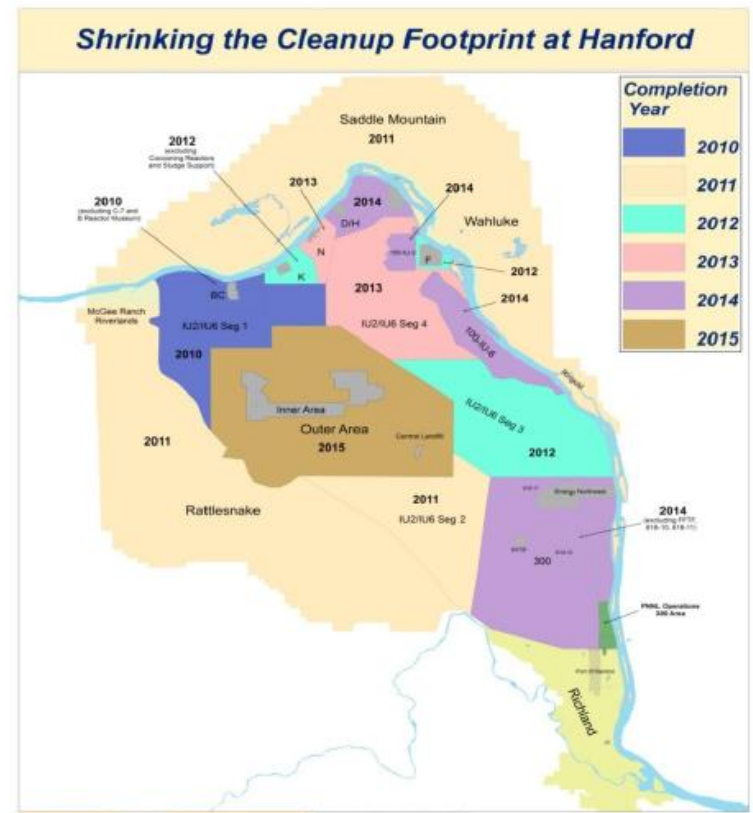
### ハンフォードサイト事例

ハンフォード・サイトは除染完了地の10%を産業発展のために活用する計画を持ち、20平方マイルのエネルギーパーク構想を持っている。

### エネルギー省のエネルギーパーク構想



### ハンフォード・サイトのフットプリント削減計画



# 楡葉町・双葉郡の復興を推進するための展開案

## ④Jヴィレッジを活用したスポーツタウン構想

- 国の健康・スポーツの拠点「ナショナルトレーニングセンター」に位置付け、原発被災地域の復興のシンボルとして国内外へ発信
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴う、練習拠点として活用
- 国内外チームや元プロ選手等によるチャリティーマッチ、Jリーグ戦等の試合・大会を誘致（定期開催化）
- 町民や企業等各々で結成した「おらが町リーグ」の創設等によりスポーツ振興を図る

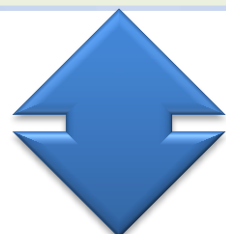


## ⑤海上交通ネットワークの整備

- モックアップ施設等の廃炉関係資機材や重量物の搬入出のため、福島第二原子力発電所の港湾を改良（洋上風力発電施設建設・維持管理においても活用）

# 檜葉町・双葉郡の復興を推進するための展開案

- ①新産業創造特区構想
- ②産学連携拠点の形成
- ③エネルギーパーク構想
- ④Jヴィレッジを活用したスポーツタウン構想
- ⑤海上交通ネットワークの整備



復興を推進していく基盤づくり  
【檜葉町土地利用計画アクションプラン】



双葉郡復興の拠点として、その役割を担い  
「双葉郡の真の復興」を目指す